

受賞した農産物直売所と褒章

授賞理由				
優勝	福岡	道の駅たちばな	農林水産大臣賞 賞状、優勝旗 副賞100万円	高齢化、遊休農地の増加、農業所得の減少、需要の少ない重量野菜の産地、などいまの日本農業の問題が集約された中山間地での農業維持には直売所しかない。そして、理想の直売所を作る、という地域農業者の強い意志によって設立された(平成17年)。コンセプト作りに苦心し、女性の手による加工品開発、地域の農業高校とのコラボレーション、高齢者を大切に、その知恵を生かす運営方針など、人のぬくもりを伝える様々な取り組み、そして実践が高く評価されました。
優秀賞	千葉	今採り農産物直売所かしわで	賞状、優秀賞旗 副賞10万円	都市化が進む地域農業を守るには何が必要か。その答えが直売所の建設であった。農家が出資し会社を作り、土地を借り、賛同する農家を集め、直売所は順調に売り上げを伸ばした。しかし、好事魔多し。参画農家の農薬使用違反による営業自主停止、放射線のホットスポットとしての風評被害。それらを克服する取り組みが評価されました
優秀賞	新潟	農家の直売所とんとん市場新発田店	賞状、優秀賞旗 副賞10万円	農業資材販売が元来の生業。"営業に行くど、どこの農家も愚痴ばかり。"未来の展望は乏しく、"解決策を模索し、"販路を自ら持つこと、すなわち農産物直売所だとの結論に至る。さらに、専業農家がよい農産物を適正価格で販売できる仕組みを作りたい。新発田市という小さな都市での挑戦であったが生産者の前向きな取り組み(特徴ある店舗づくり、品質向上・安全管理、市民との交流など)は関連事業主と垣根を超えた取り組みとして評価されました。
優秀賞	奈良	あすか夢販売所	賞状、優秀賞旗 副賞10万円	明日香村は直売所の売上が村の農業総生産額の半分を占める重要産業である。あすか夢販売所は、そのうちの67%を占める。売場ができたことで加工グループの活動も活発化した。また、堆肥利用組合の事務所を直売所に設置するなど、有機資源の循環・学校給食への食材提供・イベントを通じた交流などの活動拠点として、そして行政、商工会、観光、JAなど地域の特徴を十分生かしたきめ細かな連携活動により、消費者との信頼関係は揺るぎのないものになっていると評価されました。
優秀賞	長崎	おおむら夢ファームシュシュ 新鮮組	賞状、優秀賞旗 副賞10万円	果樹、野菜、花・・・大村市は、気候温暖なんでもできるが狭い土地、そして斜面の多い小さな産地である。付加価値をつけるには何がよいか、アイスクリームの直売所からシュシュは始まった。そして、いまや体験工房、レストラン、農産物直売所、ジュース工房に加え、市民に対し本格的な農業塾を開講し、その収穫物から焼酎造りまで加工技術だけでなく法規制や業種をこえ実現させている。ここを拠点に農家民宿も増えている。農家だけではなく市民と共に発展する姿はこれからの直売所のモデルとなると思われます。
優秀賞	山形	百万石の里しゃきっと	賞状、優秀賞旗 副賞10万円	借金をしない、黒字決算、自己資本を持つ、出資配当を支払うなど、経営手法が明確である。それにのっとり生産者同士がルールを作り、約束を守り、役割を果たすことで順調な発展を継続している。店舗は清潔なだけでなく試食品や伝統食品が展示され、このほかにも宅配事業、通販事業に取り組む。また、後継者や新規参入者も受け入れ等地域の農業者そして消費者に貢献していると評価されました。
審査委員特別賞	茨城	大洗まいわい市場	賞状 副賞20万円	直売所が位置するアウトレットモールが津波により、壊滅的な打撃を受けた。このような危機に対し農業には関係の浅かった運営者と生産者が絆を深め、主張販売などを継続し6ヶ月後には見事に店舗を再開させた。震災そして大津波の被害に怯まず立ち向かう姿は審査委員およびすべての聴衆に過酷な状況の中、貴重な復興までの道のりを指し示したと評価されました。
特別賞	茨城	みずほの村市場	賞状、特別賞旗	
特別賞	熊本	(株)ココファームたまご庵	賞状、特別賞旗	